



「その名はインマヌエルと呼ばれる」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。

マタイによる福音書 1 章23節

北風が吹くと「今年もクリスマスが近づいて来た」と感じます。クリスマスはキリスト Christ（平和をもたらす、救い主）のミサ mass(礼拝)と言う意味です。今年は、災害や紛争、病気の流行などで世界中落ち着かない気持ちが広がりまし感染症も少し落ち着き、園に子どもたちの元気な声（泣き声も！）が響き、穏やかな気持ちで12月を迎えられたことに感謝します。教会ではクリスマス礼拝の4週間前からアドベントの期間と決めて、クリスマスを待ち望みます。園では、第一アドベント礼拝を終え、クリスマスまで、毎日少しずつ準備を進めています。

「待つ」ことは大事な意味があると思う一方最近、みんながせっかちになってきたように感じます。携帯電話のおかげで、連絡はとれるし、インターネットで知りたい事もすぐになんでも調べられるようになりました。

それでも、変わらないのが、望みを抱いて待つ280日間。そうです！「女の人がもっている“あかちゃんのもと”と男の人がもっている“あかちゃんのもと”がくっついて一緒になると、あかちゃんができることもある」妊娠～出産までの期待と不安な日々。https://www.childbook.co.jp/teacher/childcare_book-16127/北山ひと美「包括的性教育」チャイルド社P51参照）人間の子どもは未熟な状態で出生するので「生理的早産」と言われていますが、1歳の誕生日を迎えるまでの乳児、「神の内」と言われる7歳まで、私も子育てはとても大変でした。「泣きたいのは私の方！」とフライパンを握りながら、泣き止まない子をあやして髪を振り乱した夕方。救急車を呼ぼうかと夜通し電話を握りしめた夜。寝顔に涙して、感情的に叱ったことを謝った日々。幼い子を育てることは苦しい時もあったけれど本当に楽しかったと気づいたのは、孫が生まれてからでした。育てたつもりが実は、私が育てられていたのです。

私は「マリアの受胎告知」がクリスマスのお話の中で一番好きです。10代前半の乙女が、天使から男の子を生むことと告げられます。最初はとても驚いたマリアも最後には「お言葉どおり、この身に成りますように。」“Let it be”と言ったと聖書にかかれています。未来は思うようにはなりません。でも、神様が私を支えてくださるから、「乗り越えられない困難は無い」と、私もお言葉を信じていきたいと願っています。明日を信じ、希望を持ち続けたいと祈ります。Merry Christmas 今井世都

0・1・2 歳



3 歳児
おみせやさん

4 歳児遠足：
高尾の森わくわくビレッジ



5 歳児：教会訪問